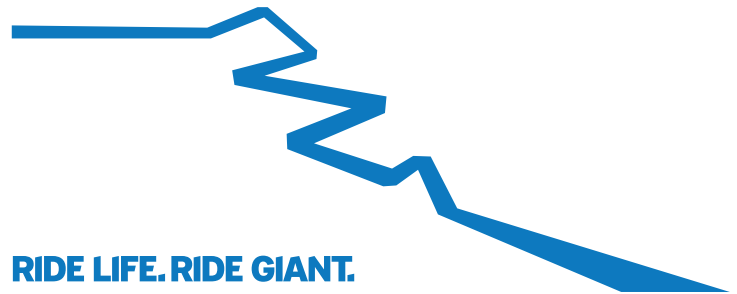




GIANT Components オーナーズマニュアル ハンドルバー

©2010 Giant Bicycle, Inc. Giant and its symbol are trademarks of Giant Bicycle, Inc. All rights reserved. Printed in Taiwan.

www.giant.co.jp



RIDE LIFE. RIDE GIANT.

もくじ

はじめに	2-3
必要な工具	3-4
仕様	5
点検と組み付け準備	6-7
組み付け手順	8-9
調整	10
メンテナンス	10-11
品質保証規定	11-14

①

Contact, Contact SLR, Connect, Connect SLマウンテンハンドルバーは、ステムのハンドルパークランプ径が31.8mmのクロスカントリー、トレイルバイク、フラットバーロードバイクで使用できます。Contact, Contact SLR, Connect, Connect SLロードハンドルバーは、ステムのハンドルパークランプ径が31.8mmのロードバイクとシクロクロスバイクで使用できます。

必要な工具

⚠ 注意

全てのパーツ組み付けは、ジャイアント正規販売店にご依頼ください。もし、ご自分で組み付ける場合は以下の説明に従い、正しく組み付けてください。

③

仕様

マウンテンバイクハンドルバー

ハンドルパークランプ径: 31.8mm

Contact SLR フラットバー: パーエンドを使用する際は、アルミ製パーエンドプラグを使用してください。

Contact SLR ライザーバー: パーエンドは使用できません。

Contact, Connect SL, Connect: フラットバー、ライザーバー共にパーエンドを使用できます。

ロードバイクハンドルバー

ハンドルパークランプ径: 31.8mm

全てのジャイアントコンポーネントロードハンドルバーは径31.8mmのセンターブリッジエリアにクリップオンエアロバーを組み付ける事ができます。

⑤

はじめに

本書はジャイアントコンポーネントを安全にご使用いただくための情報を、解りやすく説明したクイックスタートガイドです。製品のパフォーマンスを最大限にご活用いただくために、ご使用前に必ず本書をお読みにになり、製品の特性を理解してください。

組み付け時の注意: 軽量素材の使用は非常に細かい調整が必要となり、組み付けには専門的な知識が不可欠です。ジャイアントコンポーネントは、適切な工具を使用し、専門的知識を持ったメカニックによる組み付けが必要です。

使用上の注意: ジャイアントコンポーネントはロード、マウンテン、シクロクロスの通常走行と競技用に設計されています。ダウンヒル、フリーライド、デュアルスラローム、ダートジャンプ等のエクストリームライディングには使用できません。専用のコンポーネントをご使用ください。

②

- ・計測範囲が4-9Nm (35-80 in/lbs) のトルクレンチ
- ・トルクレンチ用4mm六角棒レンチ
- ・トルクレンチ用5mm六角棒レンチ
- ・耐水性グリス、またはアンチシーズコンパウンド

⚠ 警告

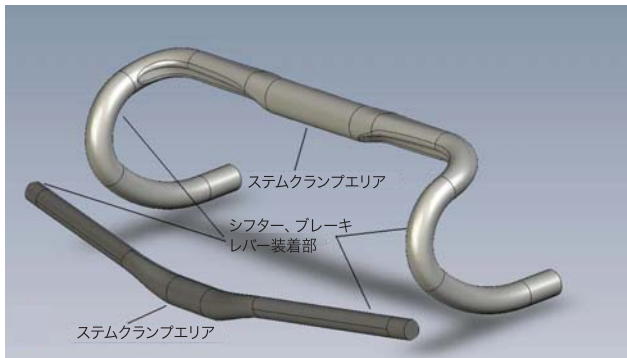
規定トルク値を外れてのご使用は、予期しない動きやパーツに損害を与える場合があります。また最悪の場合、重大な怪我や死亡する恐れがあります。

④

点検と組み付け準備

1. 使用するステムに互換性があるか確認してください。(ハンドルパークランプ径 31.8mm)
2. 輸送中に発生した可能性のある傷や穴がないか点検してください。これらの傷や穴は早期に破損する原因となります。また最悪の場合、重大な怪我や死亡する恐れがあります。
3. ステムクランプとフェイスプレートに突起やバリがないか点検します。発見した場合は細目やすりや紙やすりを使用して取り除いてください。突起やバリによる傷は調整に支障をきたし、また早期に破損する原因となります。また最悪の場合、重大な怪我や死亡する恐れがあります。

⑥



注意

パーツの各所に摩耗、クラックの兆候がないか乗車の前に必ず点検してください。そのような兆候があった場合はただちに使用を中止し、ジャイアント正規販売店にご相談ください。

7

注意

シフター、ブレーキレバーを装着する際、ねじりながら作業しないでください。ねじる動作はハンドルバーに傷やバリを作り、早期に破損する原因となります。また最悪の場合、重大な怪我や死亡する恐れがあります。

8. シフターとブレーキレバーを好みの位置にセットします。
9. シフターとブレーキレバーをメーカー指定トルク値で締め付け、固定します。
※クランプボルトの締め過ぎにご注意ください。
10. ハンドルバーテープまたはグリップを装着して、バーエンドプラグを付け、組み付け完了です。

9

警告

パーツにクラックや傷がある場合や、パーツが異常な動きをした時、またパーツが曲がっている場合は乗車しないでください。これらは摩耗や破損のサインです。ジャイアント正規販売店で点検や交換を行ってください。

品質保証規定

ジャイアントコンポーネント保証内容

株式会社ジャイアント（以下ジャイアント）は素材や仕上げ等、製造上の欠陥について、購入から1年間をその購入者本人に対する保証期間とします。

11

保証内容

製品の保証は、不具合のあるパーツと同等かそれ以上の価値があるとジャイアントが独自に判断するパーツへの交換のみに限ります。

保証交換に付随する費用に関しましてはお客様のご負担となります。

直接的、二次的、あるいは派生的に起こった、負傷による損害、所有物への損害、経済的な損害などを含むあらゆる損害は、本保証の対象外となります。

本書に記載の品質保証規定は日本国内で使用される場合にのみ適用されます。海外へ持ち出す場合はその時点で打ち切りとなります。

13

組み付け手順

1. フェイスプレート組み付けボルトに耐水性グリスを薄く塗布します。（チタンボルトの場合はアンチシーズコンパウンドを塗布します。）
2. ハンドルバーをフェイスプレートが外れた状態のステムにセットします。
3. フェイスプレートをステムにセットし、手でボルトを仮締めします。
4. ハンドルバーをステムクランプの中心に合わせ、好みの角度に調節し、ボルトを締め付けます。
5. フェイスプレートボルトを指定トルク値まで締めます。トルク値が不明の場合はステムのオーナーマニュアルを参照してください。
6. シフター、ブレーキレバー装着部に、ほごりやグリスがないか確認してください。
7. シフター、ブレーキレバーをハンドルバーに装着します。

8

調整

"組み付け手順" の作業をもう一度行なってください。

メンテナンス

一般的にハンドルバーにメンテナンスはほとんど必要ありませんが、カーボン製や高性能のアルミ製のものについては繊維のささくれや傷がないか表面をよく点検する必要があります。これは落車や衝突など事故を防ぐためにとっても重要です。

10

保証できない事項

- ・ 通常使用による摩耗または疲労と認めた場合
- ・ 組み付け方法を誤った場合
- ・ メンテナンスの不備による場合
- ・ 想定外の使用や、互換性のないパーツ、アクセサリーを組み付けた場合
- ・ 事故による故障や破損、また使用上の不注意や誤使用による場合
- ・ 部品交換に伴う工賃等

12

保証手続

購入日を証明するレシートと、当該部品をお買い上げのジャイアント正規販売店へお持ちください。

14